

令和5年2月10日

財務金融委員会 質問要旨

立憲民主党
階 猛

1. 「経済あつての財政」と言うが、2%の物価安定目標が達成できれば財政再建できるのか（財務大臣）
2. 物価上昇率が安定的に2%以上となれば国債金利はそれを上回るはずであり、財政再建は遠のくのではないか（財務大臣）
3. 日本銀行が市場実勢より低い金利で無尽蔵に国債を買う「異次元金融緩和」を続ければ続けるほど政府の財政規律は弛緩し、財政再建は遠のくのではないか（財務大臣）
4. そもそも「異次元金融緩和」は2年で2%目標を達成する手段だったが、「2年」という縛りは日本銀行内に抵抗があったのに黒田総裁下でなぜ設けられたか（日本銀行総裁）
5. 2年で2%目標は10年経ても、今から2年経っても達成の目途が立たない。達成まで永遠に「異次元金融緩和」を続ける方針か（日本銀行総裁）
6. 仮にその方針だとしても、日本銀行への信頼や財政、経済、市場への影響を考えた場合、果たして可能なのか（日本銀行総裁）
7. 2%の物価安定目標をやめて、立憲民主党や令和臨調のように共同声明を見直して新たな目標を定め、「異次元金融緩和」から過剰な資産保有を避けつつ短期金利を操作する「通常の金融緩和」に移行していくべきではないか（日本銀行総裁）
8. その他、同僚議員への答弁に関連する質問（財務大臣、日本銀行総裁）

以上

・配布資料あり